

Panasonic

紫外線硬化装置

A i c u r e

取扱説明書

アイキュアー スポットタイプ ー直射型ー
〈 品 番 ANUP5256 〉
(プリセットランプ式)

パナソニック電気株式会社 制御デバイス事業部

大阪府門真市門真1048 TEL(06)6908-1019

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

据付、運転、点検の前に、必ずこの説明書をお読みいただき、正しく、ご使用下さい。
機器の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてを習熟してからご使用下さい。
この説明書では、安全注意レベルを「警告」「注意」として区分けしてあります。

- 「警告」 取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重症を負う危険の状態が生じることが想定される場合。
- 「注意」 取扱を誤った場合に、使用者が重症を負うかまたは物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。



警告

- ・点灯中、直射光や強い反射光を目や皮膚に受けないように注意して下さい。
紫外線カットの保護メガネをして操作して下さい。

本機から発生する紫外線は非常に短波長の紫外線を含んでいますので、直射光や強い反射光を目や皮膚に受けると、炎症(日焼け)を起こします。又目の場合潜伏時間(数時間)を経て、疼痛を感じ涙が出て目が開けていられなくなりますので充分注意して下さい。



注意

- ・修理、調整は電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて行って下さい。
- ・本機には高圧電流が流れていますので、充電部を露出した状態で運転したり電源を入れた状態での修理、調整は避けてください。又アースを必ず取って下さい。
感電の恐れがあります。
- ・ランプ交換はランプが完全に冷えてから(ランプ消灯後約30分冷却が必要)行って下さい。
ランプ高温・高圧になっていますので、充分ランプを冷却してからカバーをあげてランプ交換して下さい。火傷をする恐れがあります。またランプ点灯中や消灯直後はランプ内が、高圧になっており不注意な取扱で破損すると、ガラスが飛散し、けがをする恐れがあります。
- ・装置を分解したり、改造したりしないで下さい。発火や感電の原因となります。
- ・ランプ点灯は、ランプ+側にリード線を付けた状態で行って下さい。リード線がフレームにふれた状態でランプの点灯スイッチを押すと、感電する恐れがあります。
- ・電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いて下さい。
感電やショートして発火することがあります。
- ・電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないで下さい。
感電・ショート・発火の原因になります。
- ・使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

使用上のご注意

- 1) 電源を接続する場合は装置、及び取扱い説明書に表示された電源電圧、周波数以外で使用しないで下さい。ランプ・安定器の短寿命の原因となります。
- 2) 本装置は下記の使用環境条件でご使用下さい。短寿命の原因となります。
・周囲温度;10℃～40℃ ・相対湿度;80%以下 結露のないこと
- 3) ランプを取り扱うときはガラス部を素手で触らない様にして下さい。
ランプに異物が付着しますとランプ寿命や硬化能力に影響したり、ランプ破損の原因になります。
素手で触れたり汚れている場合は、アルコールできれいに拭いて下さい。
- 4) 装置はゴム足が必ず水平面にセットされるようにして御使用下さい。
装置を傾けたり、横倒しにしたり、逆さにして使用するとランプや装置が過熱して破損する恐れがあり危険ですから行わないようにして下さい。
- 5) 過熱による破損を防ぐため、装置周辺をふさいだり装置を背中合わせで使用しないで下さい。
装置の底部・背面部をふさがれますと装置内の冷却条件が変わります。また装置本体カバーをはずしたまま長時間ランプ点灯するのも冷却条件が変わりますので避けて下さい。
また、排気風による加熱を避けるため、装置を背中合わせに配置しないで下さい。
- 6) 外部信号でシャッターの開閉制御をされる場合は、パネル部のMANUALスイッチはOFFの状態にして下さい。
またタイマー作動中でもMANUALスイッチを作動すると優先されます。
- 7) シャッターソレノイドは寿命末期になりますと開閉動作ミスを起こすことがありますので早めに交換して下さい。(消耗品リスト参照)
- 8) ランプは最大3000時間で交換して下さい。
それ以上使用しますと、破裂する恐れがあります。
ランプ点灯時間が寿命時間以内でありましても、スペアランプの常備をお勧めします。

保証

- ・納入後、1年間(1日8時間稼動)内に正常なご使用状態で、故障した場合には無償修理いたします。但し、貴社に責任のある故障の場合及び消耗品や天災地変など不可抗力に起因するものはこの限りではありません。
- 注]1日12時間以上(24時間)稼動の場合は保証期間を6ヵ月とさせていただきます。

生産補償

- ・本装置の不都合による、生産休止の損失及び、不良の損失は補償できません。

5. 操作方法

＜注 意＞ 外部信号が入っていると前面パネルのスイッチ（LAMP ON/OFF・SHUTTER）がききません。（電源部）

5-1 ランプ点灯

- 1) 電源を入れる。————— 電源コードをAC100Vに継ぐ
POWERスイッチON
* POWER表示灯が点灯し、冷却用ファンが回転します。
 - 2) ランプを点灯する。————— LAMP ON/OFF スイッチを押す
* スイッチが入ったままになり表示灯が点灯します（表示灯が点灯しないときはランプが点灯していません。再度スイッチを入れて下さい。）
- ランプ安定後STABLE表示灯点灯
- 硬化作業開始OK（ランプは約10分程度で安定します）

5-2 ランプ消灯

- 1) ランプを消灯する————— LAMP ON/OFF スイッチを押す
* スイッチがOFFになり表示灯が消灯します。
* ランプが消灯します。
- 2) 電源を切る————— POWERスイッチOFF

＜注 意＞ ランプ消灯直後は、再点灯できません。約5分程度冷却ファンを作動した後再点灯して下さい。

5-3 シャッター開閉

マニュアル・タイマー、双方でシャッターの開閉ができます。

【A】マニュアルでのシャッター開閉

- 1) シャッターを開く————— MANUALスイッチを押す
* シャッターが開きます
- 2) シャッターを閉じる————— MANUALスイッチを再度押す
* MANUALスイッチがOFFになりシャッターが閉じます

【B】タイマーでのシャッター開閉

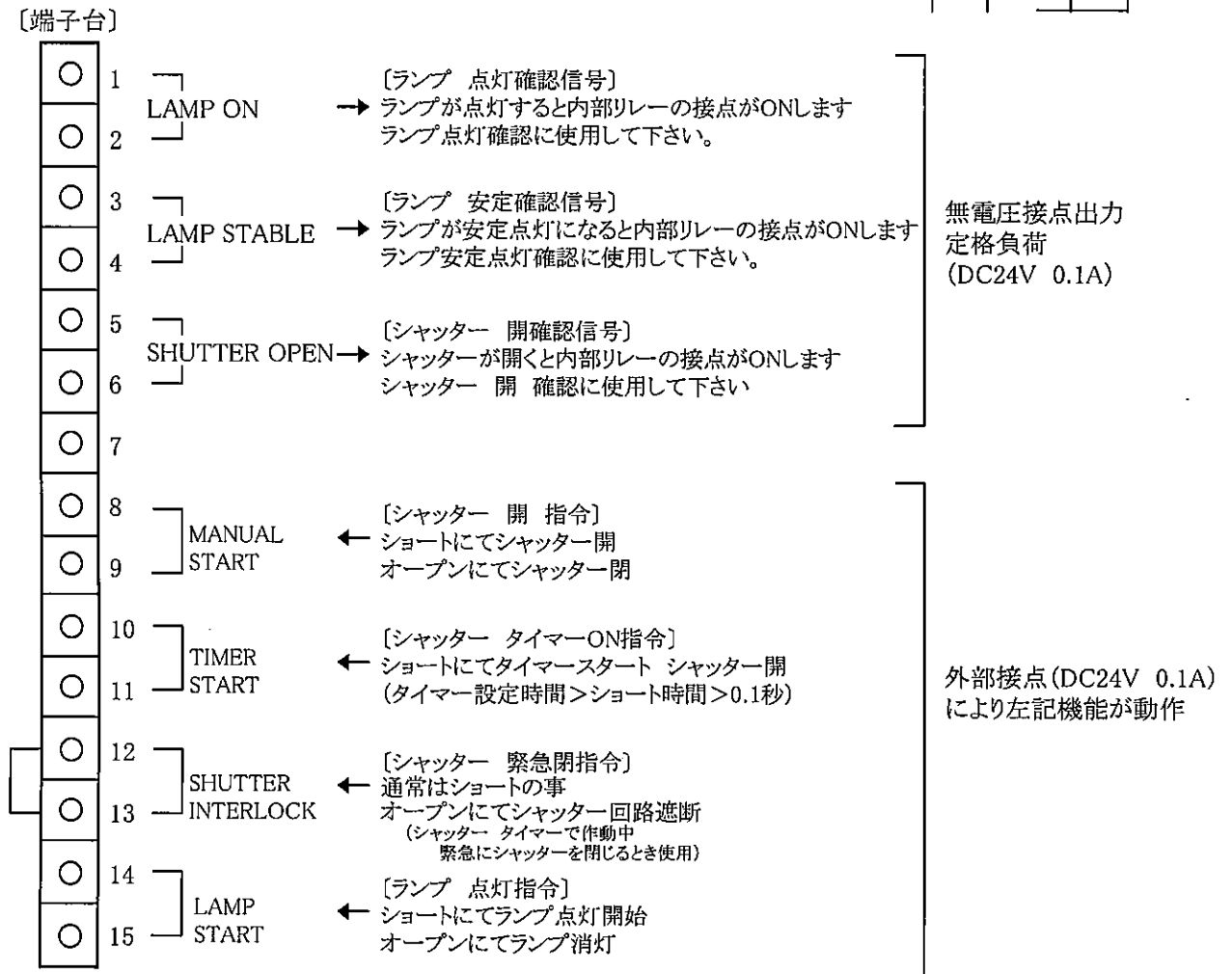
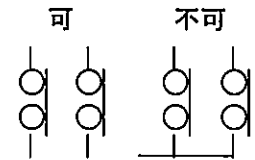
- 1) シャッターを開く————— AUTOスイッチを押す
* 設定時間だけシャッターが開いて自動的に閉じます。

＜注 意＞ マニュアル操作が優先する回路になっていますので、タイマー操作中にマニュアル操作をしますとマニュアル動作になります。

6. インターフェース

本装置には外部への信号入出用端子があり次のようになっています。

- 端子番号1～6の検出番号は無電圧接続出力です。定格負荷はDC 24V 0.1Aです。
- 端子番号12、13は出荷時リード線でショートしてあります。この端子を使用するときはリード線を外して下さい。
オープンにするとシャッター回路が遮断されシャッターが閉まったままになります。
- 端子番号8～11、14、15は外部の接点（DC 24V 0.1A）をショートすることにより各々機能が動作します。
- 端子番号8～15の外部コントロール接点はそれぞれ独立させて下さい。



<注意> 前面パネル面のスイッチ（LAMP ON/OFF・SHUTTER MANUAL）が入っていると外部信号からの操作が出来ません。また外部信号が入っているとスイッチ操作が出来ません。

7. 安全回路について

- 1) 正面より左側の側面カバーが外れていたり、ビスが緩んでいたりすると、ランプは点灯しません。
- 2) 装置内の電源回路部と光学部にサーマルを設けています。万一加熱すると作動ランプは消灯します。
- 3) 過電流保護のため装置内の電源回路部(基板)と本体ヒューズ(8A)を設けています。

8. 消耗品リスト

下記消耗品は、予備を常備しておくことをおすすめします。

品名	品番	仕様
ランプ	ANUPS252	プリセット式超高圧水銀ランプ 250W
陽極ランプリード線	ANUHP5256W	ランプ陽極側耐熱特殊電線
シャッターユニット	ANUHP5256S	DC24V 45° 100% (寿命100万回)
ヒューズ		8A Φ5.2 × 20mm

陽極ランプリード線交換方法

ランプ交換時にランプリード線が傷んでいる場合は、新しいリード線と交換して下さい

- 1) POWERスイッチがOFFで、コンセントが抜いてあることを確認して下さい。
- 2) ランプ消灯後30分以上冷却してから交換して下さい。
- 3) 本体の上部と側面カバーを外して下さい。
- 4) 古いランプリードを外し、新しいリード線を同じように取り付けて配線して下さい。カバーなどでリード線を挟み込んだり、取り付け方法を逆にしないよう注意して下さい。

9. トラブル時の処置

トラブル状況	確認事項・対策
ランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none">・ ランプは取りついているか・ ランプ+側及び-側にリード線が接続されているか・ ランプ+側に接続しているリード線・端子が劣化していないか <p>* 端子が変色している場合はサンドペーパーで磨いて下さい。</p> <p>* リード線・端子の劣化が激しい場合は交換して下さい。</p>